

貧血の原因



自覚症状がないのに健康診断で貧血と言われました。原因としてはどのようなものがあるのでしょうか。



貧血は酸素を肺から全身の臓器に運搬する赤

血球が減少した状態で、多数の原因があります。多くはゆっくりと進行するため、自覚症状が全くなくても驚くほど重度になっている場合があります。頻度は男女で大きな差があり、男性が人口の7%に



比して女性は18%と高く、特に月経のある女性に高頻度に認められます。最も頻度の高い原因は鉄欠乏性貧血で、女性では、月経過多や婦人科的疾患による不正出血、閉経後では消化管出血によるものが多く認められます。また、鉄欠乏以外にも、がん、慢性感染症やホルモン異常などに伴う二次性貧血や血液疾患など、別の病気が潜んでいることもあります。なので、貧血を指摘された場合は、自覚症状の有無に関係なく、このような異常がないかを確認する必要があります。速やかに医療機関を受診して精査してもらってください。

閉経後では消化管出血



高知高須病院
副院長 水口 隆さん

高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377 〈腎臓内科・糖尿病内科〉